

★★ 荒神神楽（七年神楽、式年祭）のご案内 ★★

◎荒神様とは三宝荒神を祀る

- ・火の神 ^{かまどかみ} [竈神]
- ・お土公様 [台所に祀る神]
- ・産土神 ^{うぶすな} [産土荒神]

前式年祭後から今年の式年祭までに生まれた子の無病息災を祈願して米俵を奉納する習慣が残る

◎神殿上での式年祭神事と荒神神楽の次第（省略される行事もあります）

- ・修祓（大麻行事～清め）
- ・榊の舞（座を清める舞）
- ・役指しの舞（差紙）
- ・動座加持、鎮座加持 ^{びやっかいしんじ}（白蓋神事～降神行事）

荒神をはじめ八百万の神々を勧請し鎮座を願う神事

- ・祝詞奉上、奉幣行事、玉串奉奠、頂盃（直会）
- ・導きの舞

猿田彦の由来を語る

- ・猿田彦の舞

東西南北中央の邪気を払い舞殿を清める舞

- ・神能（神代神楽）

- ・天の岩戸開き（荒神神楽でのみ披露される）

岩戸に隠れた天照大神を外に出す方策を巡らす八百万の神々のお話

- ・国譲り

大国主の統治する出雲を天上神に返納するお話

- ・大蛇退治

素戔鳴命（スサノオノミコト）が大蛇を退治するお話

- ・余興（要望などで開催される場合がある。）

- ・玉藻前 ^{たまものまえ}

天皇の病を祈祷すれば老狐の仕業と判明。

陰陽師が玉藻前の正体を暴くところが見どころ

- ・吉備津

吉備国を騒がせる温羅を吉備津彦命が退治するお話

血吸川を挟んだスピード感のある対決が見どころ

- ・お田植え（大蛇退治に組み入れられる場合もある）

五穀が誕生した云われと田植え行事をとおして五穀豊穰を願う演目

昔懐かしい稲作を面白おかしい仕草で観客を楽しませます。

- ・他に大神能、三韓、お多福、こけら祓いなど

- ・五行（王子神楽）

色、季節、方位、木火土金水など世界は五つに分類され五神に守護されている。

配布された五行旗は竈神に祀る

- ・託宣（神懸かり神事）

一反の白木綿を振り回す神懸かる布舞が行われる。

最後には荒神さまからの託宣が行われて、氏子に吉凶が言い渡される。・・・終祭・・・

